

2021年度 川柳大会ニュース

受賞作品発表

金賞

西院
山口 みよ



ますらをに 旗振り送った 遠い日々

「ますらを」とは、「強くて勇ましい男」のこと。生命力にあふれた存在です。でもこの句の「ますらを」は違います。今からあっけなく命を失う悲しい存在です。「ますらを」と表現することで、その悲しみが強く読者にせまってきます。



銀賞

久我の杜
壇 春野



ねずみわね 犬においかけ うしろにね

語りかけるようなやさしい調子でありながら、何度読んでもぜんぜん情景を思い描けない、不思議な句。そして、このわからなさが逆に魅力になっているという奇跡の一句です。つくろうと思ってもできないですよ、こんなすごい作品は。



銅賞

塔南の園
中山 喜久代



秋声に お月見しながら レモン酒

とてもお酒落な作品。この句は「レモン酒」だからいいんですね。きれいな月ひかりのもと、ゆったりと楽しいひとときを過ごしている様子がよく伝わります。日本酒でもワインでもなく、みごとに「レモン酒」をえらんだ喜久代さんの言葉のセンスに乾杯。



理事長賞

本能
武田 恭子



今までと 違う百寿は 通過点

コロナ禍の中で、ご利用者・ご家族の皆さんには大変なご苦勞をおかけしました。そうした中であって、心機一転、未来に向けた希望と意気込みが力強く表現されていました。



私、理事長です。

ほのぼの賞

修徳
宮川 博子



朝御飯 食べてホクホク デイサービスへ

「ホクホク」がいい。おいしい朝御飯を食べて元気いっぱい。さあ、昨日とはちがう素敵な今日がはじまる。そんな、博子さんの「ホクホク」で「ワクワク」な気持ちが、勢いよく表現されています。



ユーモア賞

塔南の園
林 伊佐雄



年のせいと 子どもに言われ 落ち込む老人

笑っちゃいけないのかもしれませんが、思わず笑ってしまいました。この「老人」というのはきっと伊佐雄さんご自身のこと。伊佐雄さんは、自分を客観的に眺め、作品化できる才能の持ち主。淡々とつづることで、川柳ならではのユーモアがにじみ出ました。



みなさんにまずお伝えしたいことがあります。
とてもおもしろかったです。ありがとう。
去年に引きつづき、今年もまた力作ぞろい。
どれを選べばよいのやら、うれしい悲鳴をあげたことでした。
元気な句、しみじみする句、ユーモアあふれる句、
みなさんの無限のちからを感じた今回でした。



小たか師匠からの総評

特別賞

小たか師匠の特別賞。
選ばれたのは10句です。

久我の杜
箱崎 ツチ子



つちみれば ぼやりとみる みるかな

赤トンボ 水面すれすれ ひとりじめ

紫野
山本 陽子



紫野
生源寺 治行



色塗り 季節の色の 出しにくさ

あ速報 心安らぐ 津波なし

小川
福沢 和子



西院
松寄 元



まだ居るか コロナはよ去れ 地球から

にちにちに かぎ針持つの 楽しみよ

西院
海老 愛子



本能
吉川 愛子



本能の 昼食残さず 箸軽し

大声の あいさつ聞いて あらいい声

本能
田中 博子



西七条
八木 ユキ子



努力して 今日あした 光求めてうろうろよここび!!

お陀仏を 過度の点滴 大往生

西七条
奥野 昌一

